

主題名：世のためになる仕事 C 勤労・公共の精神

資料名：桜守の話(東京書籍)

男子12名 女子21名 計33名

主題について

指導者 T1 隆杉 佳代

T2 宇多 弘典

ねらいとする価値

生きていくには、自分の仕事に誇りと喜びを見出し、生きがいをもって仕事を行えるようにすることが大切である。ここでは、それぞれの仕事が、社会生活をどのように支えているのかを考えるを通して、勤労の意義についての理解を深め、社会に奉仕する喜びを児童一人一人に気付かせ、人々の役に立つことを進んで実践していこうとする心情の育成をねらいとしている。

児童の実態

- ① 児童は4月に「勤労、公共の精神」の内容項目で、人のために働くことの難しさやそこから得る喜びについて学習した。身の回りにも地域や学校のために役立つ活動があることに気づき、進んで人の役に立つ仕事を行っていきたく意欲を高めることができた。
- ② 人の役に立ちたいと思っている児童は97%であり、運動会や芸術鑑賞の準備や片付け等、全校のために進んで働くことができる児童が多い。勤労の意義を理解している一方で、働くことや社会に奉仕することで充実感を味わうことができている児童はそれほど多くない。
- ③ 道徳の時間では、自分の考えを書いたり、友達のことを自分の考えと比較しながら聞いたりすることはできている。ペアやグループでは、自分の考えを伝えることができるが、学級全体に自分の意見を発言する児童が限られている。

教材について

本教材は、桜の保存という仕事に一生をかけて取り組む佐野藤右衛門さんの実話である。季節ごとの仕事内容が佐野さんの語り口調で紹介されている。最後に出てくる「桜守の心」について、深く考えることで、桜守という仕事に対する佐野さんの熱い情熱と使命感、社会に貢献したいという思いに気付くことができる。佐野さんの思いを共感的に考えたり、桜守の仕事を批判的に考えたりすることを通して、勤労の意義や尊さを感じ、仕事を通して社会貢献を果たす姿を学ぶことができる教材である。

考え、議論する道徳の時間を充実させるために

○ 児童が自分の夢の実現に向けて、意欲的に取り組むことができる道徳学習プログラムの作成

今日の社会環境の変化に伴い、働き方が様々になり、働くことに対する将来の展望をもちにくくなってきている。そこで、働くことの意義を考え、みんなのために働きたいと意欲をもつことができるように、家庭・地域と一体となった体験活動を含む「道徳学習プログラム」を作成した。

道徳学習プログラムでは、総合的な学習の時間と関連付けながら、自分が興味のある職業についてその仕事内容や魅力について調べて「職業ミニ図鑑」にまとめたり、将来の夢を抱き、それに向かって努力していく気持ちを高めるために「明日へのステップ計画表」を作成したりする。また、働くことよさや社会に奉仕することの充実感を味わえるような経験を、委員会活動や係活動を通して実感させる場面を設定する。

本時の展開後段においては、「働くことは、どうして大切なのか。」と問いかけることで、勤労の意義やみんなのために働くことの意義を理解し、自分も社会のためにできることをしていきたいという気持ちをつなげていきたい。その際、総合的な学習の時間のお仕事ウォッチングで聞いた保護者の考えや、地域で働いている方にインタビューをしたビデオメッセージをもとに考えることで、児童の体験から得た考えだけでなく、実際に働いている大人の視点からも考えることで、より深く勤労の意義や社会奉仕の大切さについて気付けると考える。

○ 発問工夫

本授業は、「桜守の話」では【A 共感的な発問】を計画している。導入では、総合的な学習の時間と関連付けて、一人一人の職業観について思いを交流していく。そして、教材を通して、【A】の発問を行い、桜守として誇りをもって働いている「佐野さん」がどのような思いを大切に、仕事をしているのかを考えさせる。そこで、佐野さんの桜守としての喜びを深めることができるようにする。そして、地域の方のビデオメッセージを紹介したり、インタビューした保護者の思いを発表したりして、勤労の意義を考えるようにする。その後、自分の体験で同じような思いをしたことがあるか振り返ることで、自分の将来の職業についての思いや、働くことの意義を考えていく。職業について、遠い将来のことではなく、現在の自分の生活と関係付けて考えてくようにしていく。

2 本時のねらいと授業の展開

本時の学習

(1) 本時のねらい

桜守の心を大切にしている佐野さんの思いに共感することを通して、自分の仕事に誇りと喜びを見だし、生きがいをもって仕事をする大切さに気付き、社会のために役立とうとする心情を養う。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳学習プログラムとの関連 □発問の意図 *評価
気 付 く	<p>1 将来就きたい職業とその理由について交流したり、本時のテーマを確認したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病気で困っている人を助けたいから、看護師になりたい。 ・ イラストを描くのが得意だから、漫画家になりたい。 	<p>◇ 総合的な学習の時間で、「ぼくの夢わたしの夢」として書いた将来就きたい職業とその理由を交流する。</p>
と ら え る	<p>2 桜守の仕事をしている佐野さんの気持ちを考える。</p> <p>● 「佐野さん」は、桜守としてどんな思いを大切にしているのでしょうか。</p> <p>【A共感的な発問】</p> <p>補助発問</p> <p>「佐野さん」は、どんな気持ちで桜守という仕事をしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桜は、手入れではなく「守り」が大事だから、見守ることを大切にしている。 ・ 満開の春だけでなく、一年間通して桜を見守ることが大事だと思っている。 ・ 祖父からの受け継いだ桜守の仕事の続けていきたいという気持ち。 ・ 満開の桜をみんなに喜んでもらえるよう、桜への愛情を深くもつ。 	<p>◇ 桜守の仕事や佐野さんへの理解が深まるように、役割読みを行う。T1が桜守の仕事を紹介、T2が佐野さんの思いを語るようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>□発問の意図</p> <p>ここでは教材に登場する「佐野さん」の桜守という仕事に対する熱い思いに共感させたいので、【A】の発問を行う。</p> <p>「佐野さん」は、桜が大好きであり、桜への愛情を人一倍もっている。一年間を通して、どのような仕事を、どのような思いをもって仕事に臨んでいるのかを交流することで、自分の仕事に誇りを持って働いている「佐野さん」の生き方のかっこよさを感じさせたい。</p> </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの人に大好きな桜を見て元気になってもらいたい。 ・ 全国各地の桜についてノートに記録し、全国の桜を守ろう。 ・ 桜がやさしく微笑む、笑いかけの瞬間を楽しみに、仕事をしている。 	<p>◇ 繰り返し発問で、佐野さんが仕事をしていて、どんなことを大切にしているのか、どんなことに喜びを感じているのかを考えさせる。佐野さんの喜びや達成感を十分に感じさせることで、「深める」ときに自分の体験と関連付けられるようにする。</p>
<p>深 め る</p>	<p>3 家族や地域の方の思いを聞いて、勤労の意義や社会に奉仕することの喜びに気づき、自分の体験を振り返る。</p> <p>○ 家族や地域の方は、どんな思いで仕事をしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が好きなことをして働くことで、生きがいを感じている。 ・ 誇りをもって仕事をしている。 ・ 社会のために一生懸命働いている。 <p>○ みんなも、佐野さんや家族や地域の方のように、夢の実現のためにがんばったときや仕事をしたときに喜びを感じたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プール掃除をした後に、低学年の子に「6年生ありがとう。」といってもらって、みんなのためにがんばってよかったと思った。 ・ 一生懸命に描いた絵をほめてもらって、絵を描くことが大好きになったし、もっと絵を描いてみんなに喜んでほしいと思った。 	<p>◇ インタビューから分かる保護者の考えやビデオメッセージから分かる地域の方の思いから、仕事に誇りをもって働いていることや社会のために働いていることに気づかせる。</p> <p>◇ 佐野さんだけでなく、身近な家族や地域の方の思いも聞いて、自分の体験と結び付けて振り返らせる。職業として働く経験はないが、自分が夢に向かって取り組んでいることや学校の中で働く経験が、将来の職業につながっていくことから、意欲的に生活でできるようにしていきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>□家庭・地域と一体となった体験活動を含む「道徳学習プログラム」との関連</p> <p>「お仕事ウォッチング」として、保護者の方にインタビューをしたことや、事前に教師が地域の方にインタビューしたビデオメッセージを見せ、仕事の意義や社会奉仕への喜びを共感できるように、グループで意見を交流して深めていく。</p> </div>
<p>見 つ め る ・ あ た た め る</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 働くことや自分の将来就きたい職業への思いについて、自分の考えが広がったり深まったりしたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことは、自分の生活のためだけだと思っていたけれど、みんなの役に立つこともできるのだと思いました。 ・ 佐野さんのように、自分の仕事に誇りをもって仕事ができるように、自分の仕事の魅力を見つけていきたいと思いました。 	<p>◇ 働くことの意義や自分の就きたい職業への思いを振り返るようにさせ、自分の考えが深まったり広がったりしたことを交流させる。</p> <p>* 生きがいをもって仕事をする大切さに気づき、社会のために役立つとする心情を高めているか。(ワークシート、発言)</p>

(3) 板書計画

